

中川村地球温暖化対策推進協議会だより

中川村地球温暖化対策推進協議会

クルマとつなぐ屋根ソーラー補助金

既存住宅対象、村の補助金上乗せて**最大60万円!!**

※既存住宅に太陽光パネル、V2H システム、蓄電池を新設した場合

既存の住宅を対象としたエネルギー自立化を促進するための補助金で、県の補助金に村が上乗せて補助をしています。

太陽光パネル+V2H

県 **25** 万円 + 村 **12.5** 万円

太陽光パネル+蓄電池

県 **20** 万円 + 村 **10** 万円

V2H のみ

県 **20** 万円 + 村 **10** 万円

蓄電池のみ

県 **15** 万円 + 村 **7.5** 万円

県の補助金申請には要件があり、村の補助は上乗せになりますので県の補助を受けることが前提となります。

主な要件としては

- ・申請者が居住する住宅である
(店舗併用でも可)
- ・認定事業者と販売契約を結ぶ
- ・令和 8 年 2 月 27 日までに設置

などがあり、対象となる設備にも出力などいくつかの条件があります。特に、太陽光パネルだけを設置するものは対象となりません。必ず蓄電池か V2H システムを設置する必要があります。



村内にも認定事業者として登録されている業者さんはありますので、県の Web サイトで詳しい条件などと併せて検索できます。

電話でのお問い合わせは

県ゼロカーボン推進課

026-235-7255

上伊那地域振興局 環境・廃棄物対策課

0265-76-6817

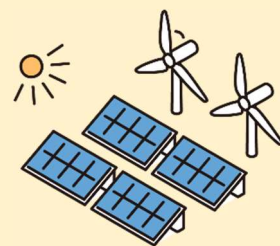
役場建設環境課 環境係

0265-88-3051



地球温暖化用語辞典

「再生可能エネルギー」



日本の法律では、2つの法律で微妙に異なる定義がされているため、少しわかりにくい部分があります。

「太陽光」「風力」「水力」「地熱」「バイオマス」までは、どちらの法律でも OK。「太陽熱」「大気中の熱その他自然界に存在する熱」は法律によります。

国際的に使われることが多い「RE100」では、水力とバイオマスに「持続可能であること」という条件が付きまうので、ややこしいですね。

日本の法律上の定義では「非化石エネルギー源のうち、エネルギー源として永続的に利用することができるもの」とされていますので、石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料は当然含まれず、原子力発電は核燃料に限りのため含みません。

バイオマスは「生物由来」という意味で、化石燃料ではないものを指します。薪に代表される木質バイオマス以外にも、種類はいくつかあります。

再生可能エネルギーは種類も多く、その取り組みも様々です。無理のない範囲で身近なところから、日々の生活に取り入れてみませんか?



「おうち発電所」#1



太陽光小型ポンプの噴水

8/23(土)に行われたどんちゃん祭りでは、テント市の片隅で地球温暖化対策に関連したブースを設置しました。

ブースでは、太陽光発電や、小型ポンプ、公用車として使われているEV(電気自動車)やバッテリー駆動小型車の展示や各種補助事業の紹介などを行い、小型車両は会場設置の資材運搬のお手伝いもしました。

今後の村の色々な行事の際には、地球温暖化対策に関する展示や紹介などをしていきます。



小型車両とEV

一般的な家庭で使う電気の量は月に約400kWh(4人家族・戸建て)と言われています。それをすべて賄えるだけのシステムを導入しようとすると、数百万円の費用がかかります(既存住宅であれば、最大60万円の補助が受けられます→表面参照)。

2050年のカーボンニュートラル達成のためには、ひとりひとりが身近なところから、二酸化炭素の排出量を減らしていくための取り組みが求められます。そこで、費用も手間もそれほどかからない「おうち発電所」の建設を、皆さんにチャレンジしていただきたいと思っています。

- ① 電気があったらいいなと思うところがありますか？
コンセントを伸ばしにくい or そもそも電源がないけれど
電気柵や照明などを設置したい場所はないでしょうか
- ② 必要な電力はどれくらいですか？
出力(W)と使用時間はどれくらいになりそうですか？

例えば200W 程度の太陽光パネルの場合、条件にもよりますが、1日に発電できる量は約0.5kWh。年間では200kWh ほどになります。1日の使用量が0.5kWh を超える場合はパネルを増やす必要があります。基本的には蓄電池(バッテリー)も必要です。

まずは電気の使い道、そのために何が必要か。太陽光パネルについてはこちらで用意しますので、一緒に考えてチャレンジしてみませんか？詳細が決まりしだい、お知らせします。いろいろと想像をふくらませながら、お待ちください。

公民館マイクロ発電所



8月17日(日)に公民館講座「発電のしくみを学ぼう!」では参加者の皆さんがペットボトルを利用した風力発電と太陽光パネルを利用したイルミネーションを製作し牧ヶ原橋の東側に設置しました。

大人から子供まで、それぞれに考えながら試行錯誤を重ねた風車は、よく風を受けて回り、昼間発電・充電したイルミネーションは夏の夜を鮮やかに照らしました。

